夕刊 磐城新聞
十二月十五日發行
定價 一ヶ月金六拾五錢
發行所 磐城新聞社
(日曜祭日翌日休刊)

琉球・台灣旅行談

山口彌一郎氏

十三日會講演筆記

二

黒と云ふより紺色と云ふ方がいゝでせうか、そして縞も何にもありません。一部の高貴の方の禮裝等には色物もありますが一般は黒いのです。而かも我々が見たところでは男も女も同じもので、太いズボンに洋服樣の上衣をつけてゐます

此の樣に今度の旅で氣の付いた事を話して參りませう。奄美大島は鹿兒島を午後五時に出帆すると明日の正午頃着きます。こゝでは小川村出身の吉田三郎氏が中學校長を七年程務めて居られるので『俺は大島の主だ』と言つてをられる程です。先生の御厚意に依り色々案內されましたが意外であつたのは本場大島紬の染方です。原名シャリンバイ、俗名テーチホと云ふ灌木を小片にしてその煮汁で染めるのですが、その色は餘り濃くない褐色の汁で、染め上げる迄は五、六十回も染めるのです。そしてその間數回泥土にまびるのです。此れはアルミナ分とかを溶媒として染めるのださうです。絣物になると、絞染の樣に始め横を木綿糸で織り先の方法で染め、後解いて、横縦併せながら織つてゐます。精巧なものになると一日數尺とは織れないさうです。値段も高いものですがこの分ではとても機械的工業には適さなく、どこまでも家內的工業で一家に一臺とか二臺とか置いて夫々織る外ない樣です。女の仕事としては先づこれが主なるもので、沖繩の方に行くと殊に目立ちますが、街頭に出ても女が大變働きます。大島、沖繩は總じて女が大變多いのです。生れた時は左程男女數はちがひませんが二十才前後になると、女が多くなるのでなく急に男の數が減じます。これはとても島では生活出來ないから他に出稼に行くのです。晩年歸島するものもありますが、とても皆んなは歸りませんから二十才以上は女が多い事になつてバランスがとれてありません。朝鮮では白衣を着る限り女の向上は望まれないと云はれてゐます。それは洗濯が彼等の主要勞働になるからです。そのかはり朝鮮の女は洗濯の世界的天才と云ふ錚稱をもつてゐます。眞珠貝で有名な志摩半島の海女の多い村に行きますと『女と生れたからには亭主や子供を養へない樣では駄目だ』と云ふ事を言つてゐます

新年文藝募集

一、短歌(新年に因める歌)(山)
一、俳句(春に因めるもの)
一、童謠(同)
〆切十二月二十日、以上何れも數に制限無し

潮聲硯靜抄帳

『小鳥網』 酒井耕影選

3 十三夜風のひやつく暇かな 松堂
夜の更けて名殘の月の澄めりけり
十三夜の月に更げたる露台かな
更け更けて鉾杉くらし後の月
4 甲板に異人もまぢり後の月
4 大根のぬけてゝ白し十三夜 武門
砂山の砂からほるゝ十三夜
砂山に舟影しかと十三夜
玲瓏と山を離るゝ後の月

社會の今日

12月16日 △佛國公使梟府にピストルを獻ず(慶應元)△樂聖ベートーヴェン生る(一、七七〇)△露國東支南線を滿鐵へ賣却提議說傳はる(昭和六)△東京白木屋吳服店より出火し殆ど全燒、死者十三名を出す(同七)△米穀公定價格決定△拉賓鐵道開通△デリー會商大團圓△日蘭會商オランダのヘーグで開會(同八)

12月17日 △惣目付を置く大目付の始(寬永一〇)△金兌換停止を公布す(昭和六)

○

鳴きすますすそ蟲が音は冬晴れの、遙けき空ゆきこえ來るなり 中村柊花

かけてすぐほの〴〵ぬくし耳袋 椨郎

講談 戶隱奇譚 山の怪秘 (65)

丸山寛雄作 眞木浪畫

鳥人鬪爭(一)

仁王坂を下つてくる馬子がある。その馬の背には目深に姐さん冠りした女がくらにしがみつくやうにして乘つてゐる。駒の歩みが劇しいからだ。馬子が手綱を強く引張つてゐるせいである。これによつて馬子が相當に道を急いでゐることが判る

同じ戶隱街道でも、この仁王坂邊は赤土の道なので馬子の立てる砂煙りと、馬の四ッ足が蹴立てる砂煙りとが一團となつて尾を引いてゐる。煙幕でも張りながら歩いてゐるやうだ

馬上の女は手拭を口にあてゝはゐるが、時々咽せ返るのか可愛い咳をする

山の空は飽くまでも明るく、鶯鶯の聲も心持よく耳に入る

『ちょッと瀧之丞』

馬上の女は馬子に扮した弟の瀧之丞に呼びかけたが鈴の音に消されるのか答へがない

『お前、瀧之丞』

こんどは極めつけたやうな聲。たしかに馬子の耳に入る筈であるが、馬子は依然として振り向きもしないで手綱の尻をぴゆう〳〵振廻しながら進んでゆく

聞ゐても振返つて答へるのが臆劫なためであらう。まして姉弟同志だ。道中話は五月蠅い。いゝ加減に聞流してしまふ瀧之丞の腹かも知れない

『おい、瀧之丞、お前つんぼになつたのかい。これでも聞えぬかい』

馬上の女、呉葉はつい今し方もみ林の木の下を潜つたとき、馬の上から折りとつた木の小枝を發止とばかり馬子の瀧之丞めがけて投げつけた

そこで始めて馬子は、馬上を振返つて

『何だ!』

『何だぢやないよ、お前、私が先刻から、あの位、呼んでゐるのに聞ねぬのかい』

『こつちは、そんなどころぢやねえ、考へごとで一杯だ』

『お前もさうかい、でも、まあ、お前が馬子、私がお客、この旅姿ではどうやらうまくごま化して行けるだらうよ。それにあの茶屋の親爺から恐ろしい眠り苔の粉末を貰つてゐるからには大概はこれで防いで行かれるといふもの。ほんにとんだ調法な藥を手にいれたものさ』

呉葉はかういつて懷の中をのぞくやうな格好をした

『寶を云やあ、俺はあの人喰蘭といふのも、片目の魚といふのもみんな欲しかつた。たゞ持つて歩くに荷厄介な奴でな』

『人喰蘭に片目の魚、あれはお前さういふわけには行かないよ。生きものなんだから』

『いや、その生きものなんだから餘計欲しかつたのさ。あんな珍らしいものを、江戸へもつて行つて奥山か兩國あたりで興行して見ろ、物見高いは江戸ッ子の常、しこたま儲ける事が出來るんだ。惜しいものさ』

『それよりもお前、こゝには素晴らしい金目の佛樣があるんぢやないか。小器がけの際もので儲けるなんぞそんなけちな了間はおよしよ』

『それもさうだな。ところで大丈夫に結びつけてあるだらうな』

『あいよ、大丈夫だよ。佛樣を尻の下に敷くやうで、ちと勿體ないが、くらの後にきつく結びつけてあるから落ちつこはありやしない!』

『[illegible]つた、大變な、あのとほり一方ならね危險を冒して盜みとつたんだからな』

二人は、こんな言葉を交しながら山坂を下りてくる

聞いてゐるものは路傍の草木、見てゐるものは太陽ばかりであつた

青い餅 (二)

野村吉司

工場は空家のやうに荒れてゐます。その二階で新公はたつた一人、フチの缺けた瀬戸の火鉢に噛りついて古新聞を讀みながら日をおくつてゐたのです。だから、年の暮れだらうが、大みそかだらうが、元旦だらうが、主人が留守でも一向かまひはしません

ついこの間までは職工がまだ二十人餘りゐました。世間なれない若い主人が經營を誤つて、だんだん動きがとれないやうになりはじめてゐたとは言ふものの、數代續いた友禪工場らしいにぎやかさを持つてゐたのです

『とにかくかう不景氣ではとても工場を維持して行くことはできない……』と苦しまぎれに、主人は先月の末に職人達の給料を値下げすることを申し渡しました職人達はそれに大變不滿足で、みんなで相談して工場へ出て來ても誰も仕事をしませんでした

主人は怒りました。職人達を全部解雇して、工場を閉鎖すると言ひました

しばらくごた〳〵してゐましたが、結局、職人達はいくらかの手當を貰つて一人殘らずどこかへ行つてしまひました

主人は家財道具や、工場の器具類まですつかり賣り拂つたので、工場は俄かに空家のやうにガランとしてしまひました。その二階に新公と主人と二人だけ殘りました

新公は使ひ走りの小僧でしたが、ひとりぼつちのみなし兒で、親も、家も、行くところもなかつたのです

主人は工場の隅に積んであつた生地の殘りを擔いで出て行つては、お酒を買つて戻つて來ました。そして一人でそのお酒をのんで醉つぱらひました。主人には未だ奧さんも子供もありませんでした

廣告

自動車ノ御用ナラ何デモ御仰セ付願ヒマス。
驛前 昭和タクシー
電話 三四〇 三四三 番
一、充實セルタクシー部
一、高級大型國体遊覽車
一、乘合(豐間、江名、中之作方面 小名濱直通 靈峯閼伽井嶽)
一、貨物一般運送

美味で評判の
イワキサロン
平町電三三五二

マグネット
ダイナモ
バツテリー
試驗機完備は確實を語る
久野電氣工業所
平紺屋町 (呼電)三六六番

平南町
川井內科診療所
電二四三

株式賣買、債權取立
合資會社 三共商事
平町大町 電三六〇

防寒毛メリヤスと
七五三祝の贈りもの
婦人毛革ショール
子供毛革エリマキ
陳列
ツルヤ
電一四〇

三五七
祝履特價賣出し
錦綢傘代理店
平町五丁目
田口はき物店
電話三七七番

忘年會
新年會
◈萬事御希望に副ふやう勉強して御奉仕致します。
◈御通知下されば當方より早速參上如何やうにも御相談に應じます。
◈尚餘興舞臺が出來ました。
平町紺屋町
住吉屋本店
電話一五九番

內郷の新聞折込廣告は
電話(綴)二番に御通知下されば店員が取りにまいります。
山口新聞店

夜間診療
胃腸性病 專門
內科 胃腸病科 花柳病科 性病科 皮膚科
松村胃腸性病科醫院
(平町南町電一〇七番)

磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ましたどうぞ御試用下さいませ。
親切。迅速。
◎會員募集(入會金ト維持費ハ申受マセン)
平町字田町五(元郵便局ウラ)
駒井ヒデ
電話三九九番(呼出)
…會員募集…

新發賣榮養素
チキンスープ 一合金五錢
一名出しの素
歐米各國にては既に醫界の賞讃せらるゝチキンスープは我國に初めて研究發賣せらるゝものにして『チキン』數種の野菜其他種々なる榮養素を含有せらるゝものにして病弱。兒童。保健。精力增進 榮養素にして種々の野菜煮物の出しの素には最も適して居ります
鷄肉も安價にて販賣致しますから何卒御買上の程御願ひ致します。(配達迅速)
平町材木町三十二番地(敎會前)
二得商會
チキンスープ專賣所

耳鼻咽喉科專門
平町南町一六番地
大和田醫院
電一七〇番
(入院隨意 病室完備)

ラヂオとデンキの御用命は
何んでもフルヤマに
古山電氣商會
平町警察通り(呼電)一六六

祝七五三
樂しい皆樣の七五三の御祝ひが參りました。お健やかにお成長なさつた可愛いお子樣方のお姿を記念にお寫眞に撮つて保存いたしませう。此のお目出度い記念を當館も御祝ひいたさせて戴く意味で且つ從來の御引立を戴いた御禮の印迄に特に割引をいたします。其上立派な景品を差上ます。是非お宮參りの御歸りがけに御立寄り下さいませ。
平町才槌小路一番地(田町大通り)
ライト寫眞館
電話五三五

吉田眼科病院
平町紺屋町 電話六八番
醫學士 吉田久雄

七五三子供服!
開店してまだ日の淺い………
ハヤシの思ひ切つた大奉仕
子供服 男兒 女兒 二圓六十錢から
オーバー 男兒 女兒 二圓八十錢から
其他 女學生用オーバー 婦人用コート 男女通學服並にオーバー
豐富取揃て有ります
實質的高級品……新型をお安く勉强致します
是非當店に御用命の程を
平町三丁目角(マルトモ書店向ヒ)
婦人子供洋服店 ハヤシ

危機に立つ小娘達に各方面から救ひの手
平署宛に同情の書狀來る

凶作、不況が齎した全國的の娘身賣防止に關して平署でも其筋からの通牒により愈々積極的に乗り出し、四家平職業紹介所長も此程開かれた縣下五職業紹介所長の打合せに基き一昨十三日横山署長と面接の上これが先決問題たる惡周旋業の撲滅に就き種々懇談する處あつた、一般も少からずこれに同情し『氣の毒な凶作地の娘を女中に世話して下さい』と關係筋に温い手を延ばすものも少くなく平町うしく子供洋服店並に昨十四日も平署に左の如くこれが斡旋方を願ひ出た

栃木縣足利市旭町五八六辯護士三輪月治氏（田村郡瀬川村出身の福島在住辯護士三輪林之助實弟）は現在使用人一人のみで手不足を來して居るので年令十七、八才位の娘を一人位

×

東京市淺草區向柳原二一一紙器製造業中野和平氏も既報僅か十圓也で凶作地の十八娘が身賣の一歩手前で救はれた嬉しいニュースに胸打たれ態々同記事掲載の新聞を同封した手紙で女中を所望、年令は十八、九才、或は十五、六才。給料は一、二ケ月なら五、六圓、二、三年居れば一ケ月十圓位で前借は六、七十圓

產繭統制法反對表明
豊橋支部へ合流を打電

昨報―產繭處理統制法案反對に關する平蠶糸商組合總會は昨十四日マルトモに開催、協議の結果反對の態度を決定し全國蠶糸業者聯合會豊橋支部に反對合流を打電し實行委員二十三名、常任委員九名を決定

決議文

日本中央蠶糸會へ諮問の產繭處理統制案は吾人繭に關する業者全部の營業不能に陷らしむるものと認め本組合は玆に絕對反對を表明す

を決議し、之が具体的方法に就ては明後十七日組合長白土貞三氏方に實行委員會を開催決定し、尙は來る二十日頃東京に開催される全國蠶糸業者聯合會に五名の委員を出席させる事となつた

平署開設以來の最高記錄を作る
今年中の送致千件突破

三市各署を凌ぎ警察統計で縣下一の平署に於ける去る一月以降昨十四日迄の檢擧件數は四千二百七十六件で七、八兩年度合計を突破する事八十三件で送致も千一件の多きに上り同署空前の最高記錄を作つた、事件の主なるものはインチキ金融會社を設立し地方人から多額の金額を捲き上げた帝都商券事件及好間、玉川村の強盜事件を始め二十數件で其他は窃盜、詐欺、横領が約大半を占めて居る、右に就き横山署長は語る

―民衆の勇敢機敏なる助勢で檢擧を容易ならしめた事を感謝する、尙刑事の增員と科學的搜査法の完璧を期せば檢擧も更に增大する事であらう、檢擧に當つては常に犯情を考慮し苛酷に亘る手段を避け眞に豫防的見地に立脚して行動した、云々

凶作地へ純情の醵金
双葉郡から平署へ

双葉郡大野村小學校尋六女生一同は今十五日左記手紙に一圓十二錢を添へ平署に凶作義金として屆け出たので直に縣社會課に送附した凶作地方の人達の様子を

涙を一ぱいためて南會津の皆さん方が一つぶのおいしい御飯を食べられないと言ふお話をおきゝ致しました。私達は何不自由なく親の暖い懷にそだつて毎日學校に通つてゐます。それでも凶作地方の人々の事を思ひ出しますと私達は幸福でも悲しくなります、私達が一錢一錢とお小使をためてこれだけになりました、どうぞ署長様凶作地方の皆様に上げて下さい（尋六女）

子供が―職業に倦きるのも半分は親の罪
平三小學で指導改善計劃

平三小學校に於ける來春卒業生の就職志望者は既報の如く第一に百四名、第二に六十九名、第三に三十三名、計二百六名あるが年々漸增を示しつゝある之等就職兒は何れも燃ゆる希望に胸躍らせつゝ實社會に飛び込んでは行くが中には僅か一、二ヶ月で戻つて來る者も少くないので當局が學童就職の重大問題であると過般來これが原因に就いて調査考究中の處本人の意思及び職業に對する正しき認識の欠如ばかりでなく父兄達の職業選擇を誤つた事も大なる原因であることが判つたので、今年は受驗兒童の父兄に對すると同樣懇談會を開き『子供の職業』に對する正しき認識を望み且つ教育し、一方兒童にも就職後の職業指導を行ひその萬全を期する事になつたと

意外に集つて第一回の銀紙送付
近く義勇飛行會へ

石城教育部會では過般の總會に於て郡下學童により銀紙蒐集を決議以來各校夫々取纒めては部會に送つてゐるが意外の多量となつたので近く義勇飛行會に送付することになつたと

輕機銃も參加して內郷在軍青訓發火演習
明日曜一大接戰展開

內郷村在郷軍人會では同青年訓練所と合同明十六日午前八時から白水高坂方面に於て發火演習を行ふが參加人員三百餘名に輕機關銃三基も加はり壯快なる一大接戰を展開する筈である、全軍の部署は次の如くである（統監）聯合分會長山崎清三砲兵少尉、沼田須之助騎兵少佐（審判）加藤丈夫歩兵少尉、四家又一歩兵少尉（北軍指揮）大越一郎歩兵少尉（南軍同上）杉山今朝吉分會長

◦◦◦◦平青訓演習 平青訓では今十五日午前十時內郷村小島方面に於て假想瓦斯防止の野外演習を行つた

杉山炭鑛義金送附

內郷村杉山炭鑛主杉山今朝吉氏は郷里山形縣の冷害に對し從業員より三十圓、職員より二十圓の醵金に自己の百五十圓を加へ合計二百圓として郷里の所轄新庄警察署長宛て送金[illegible]然處理方を依賴したと

赤井第二校父兄懇談會

赤井村第二小學校では娘身賣話の裡に愈々卒業季も近づいたので貧困兒の卒業後に於ける方針を誤らぬやう各家庭と連絡をとるため今十五日午後一時から父兄會を開き種々協議する事になつたと、四家平職業紹介所長臨席の筈

愈々來春から自動車檢査支所開設
積年の不便から救はる

平、植田、四倉、富岡の四署管下自動車業者より叫ばれた自動車々体檢査支所設置問題は過般の協議會で經費三千九百圓を投じ平町八幡小路元磐中グラウンドの百五十坪を利用し三月末迄に檢査所並に事務所外所屬建物の建築を了し愈々四月より實施する事になつたので從來福島往復二日間を潰してゐた前記關係者は少からず助かるわけである

自動車組合減免稅陳情

自動車協會平支部では最近法規改正により自動車一台につき十圓の營業稅の外道路損傷料として更に十圓を徵せられるやうになつたので昨十四日急據平署會議室に協議會を開いた結果今十五日幹部會が陳情のため出縣した

昭和人絹へ
小玉川から 横山署長の斡旋

昨報永戸村下永井小玉川發電所請負加藤組に絡はる酷使事件に關し平署では近來稀な怪事件として直に渡部司主任以下刑事一行が同地に出張請負人四家武雄（四〇）の外倉田權三（三七）佐藤倉治（四〇）佐藤義治（二八）外二名を連行昨夜は取敢ず扇屋旅館に泊め今十五日早朝被害者吉見喜次（四九）と共に關係者一同を召喚取調べた處毆られたと云ふ十名には別段の傷もなく加害者と目される四家も極力之を否定するなど昨報吉見の自供と大部相違があるらしく引續き取調べ中であるが尙加藤側ではこれら十名の自由意志にまかせたので横山署長は今十五日吉見外八名を近く着業する植田町昭和人絹會社へ住み込ませる事に斡旋し加害者側は近く送檢される筈

朝の上り急行に氣紛れ列車の異名
遲着常習に惱む平驛

時刻改正の齎した當地方への劃期的利便として大いに重寶がられて居る平發七時二分の上り急行列車は改正後隔日位に五分乃至十分の遲着を見、昨十四日の如きは實に二十分も遲れ早くも氣紛れ急行の異名を附せられ乘客を間誤つかせて居るが之は多少雪の關係もあるらしいがスピードアップに備へる仙台以北各地の曲線改良工事によるらしく平驛でも困り拔いて居るが普通列車なら各驛の停車時間を短縮しスピードを出すことによつて塡め合せ得るが該急行は最大限のスピードと最小限の停車時間のためそれが不可能であり仙台―平間で僅か二分を短縮し得るのみなので平驛の停車時間は極力短縮される

惡桂庵の跳梁を防ぐ
紹介所と町村連絡

平職業紹介所では娘身賣防止の一策として求人口を郡下連絡各町村に配布しモグリ桂庵などの跳梁を防ぐ事になり昨十四日求人聯絡日報並に青森地方職業紹介事務局の求人聯絡通報を配布した

◦◦◦◦歲末救貧寄附 入遠野村深山田農瀬谷伊吉（四九）は今十五日歲末貧困者救濟金として平署人事相談所に五圓を寄附

昭和九年を顧る
その五

（十日）郡醫師會總會、磐女ピアノ開き、入山自治館建設委員會、平商創立廿一周年記念（十一日）色川工場問題反對側解散、此頃琵琶の鶴田旭窓師來郡（十三日）縣下盲人大會、地方空前の圍碁大會本因坊來平此頃海岸軌道更生運動（十四日）平窪の水田龜裂更に擴大（十五日）尋小校臨時補助郡下に三萬千餘圓、春蠶吸收對策で貨物輸送事務打合（十六日）磐城丸繼の快報、平の田島見舞送金間際に停頓（十七日）郡下徵兵檢査始る、小名濱漁組臨時總會（十八日）四倉初代町長菅波忠左エ門翁長逝（十九日）玉川住吉神社で佐波古氏頌德碑除幕式、飯野農實組完納表彰（廿一日）野木檢事福島へ轉（廿二日）研究會で平町助役反對決議（廿三日）平町都計で隣接部落合併調査（廿四日）湯本町營グラウンド竣功式、海上點呼で廻航の木曾に久邇宮、海軍機江名永崎沖合に墜落增田大尉絕命、平町會で地下採掘反對答申決定第四校敷地買收起債決議（廿五日）久邇宮磐炭へ、三日間湯本で郡內野球戰、平で海軍々樂隊演奏會（廿六日）夏井川改修國補交附十六萬五千圓、追濱で增田少佐海軍葬、原宿獵奇事件兩名に死刑の判決（廿七日）平青年團總會下中氏講演、磐炭で三大炭鑛庭球爭覇、海軍記念日諸催し（廿八日）平女青團總會、豊間に大鯨（廿九日）鑛毒問題で玉川代表仙臺に陳情、熱心湯の强盜に三年半の判決、追濱飛行司令大西中將來郡部下を見舞ふ（卅日）湯本溫泉復活停頓の態で有志等研究を急ぐ、控訴院で四家政男に十三年、東郷元帥薨去の報（卅一日）今朝地震、元四倉築港書記金澤四郎（三三）に一年半の判決、赤井の炭燒松本荷雄（四五）自動車から墜ち即死、徵兵檢査終る（六月一日）平農倉の共販米價漸騰（二日）平署風紀取締座談會（三日）石城教育部會總集會、磐中野球で水戶に敗る、福田仙臺土木出張所長來郡視察（四日）平町國道鋪裝三萬圓で起工決定、綴驛檢炭機取付開始平町火防督勵（五日）四倉で漁業更生指導、東郷元帥國葬で哀悼（六日）夏井川改修就勞登錄開始、平胡摩澤で一戶半燒、好間愛谷踏切で列車乘合衝突、平驛前廣場鐵道に寄附願（七日）平町高麗橋着工協議會、弗々田植始る（八日）勿來產年放送、夏井川改修で潰地買收交涉、平小學生修學旅行（九日）郡町村長會總會入山都市對抗野球へ（十日）時の記念日平城山の鐘表彰入山劍道大會、對磐炭野球で高月辛勝、小名濱築港で石材トロ花崗石と誤り霜降服の見を轢く

路上に失神の遞送手
名を告げぬ奇特な運轉手 救ひの主を平局で搜す

平町久保町平局遞送手東海林龜七（三八）さんは今十五日二貫餘の郵便物を背負ひ自轉車で合戶よりの歸途、午前八時半頃箕輪村成澤地內下り坂にさしかゝるや自轉車から顚落下顎部、左顏面を強打腦震盪を起し人事不省に陷つて居るを折柄通りかゝつたトラックが發見、全人を介抱しつゝ自宅に、郵便物は平局に屆けたので遞送上何等支障なきを得たが奇特な該運轉手は氏名を告げず立ち去つた爲同局では一層之に感激し目下八方探索中である、尙龜七さんは自宅に運ばれて略々意識を恢復、直ちに高久病院に入院したが生命には別條ないと

純金處か鉛のメッキ
時價六千圓の發掘佛像に 日雇男が幻滅の悲哀

金！金！金！に目まぐるしい師走半ばに起つたナンセンス―平町彌宜町日雇業夏井村生れ渡邊孫作（三七）さんは去月初旬頃第三小學校附近泥田の中に金色燦然たる阿彌陀の佛像を拾得飛び上らんばかりに狂喜し早速附近の古物商人に鑑定を求めた處『純金だから時價六千兩は下るまい』と言はれて二度びつくり。其後佛壇に供へて朝夕跪拜して居た處、近所人にそれでは拾得物橫領になるからと云はれて兩三日前平署に屆け出たが『一週間以後の屆け出では取得權は無い』と國庫へ歸屬されたのを聞いた當人忽ち幸運の夢破れ悄々一と先づ引下つたが、昨夕係の金子會計部長が試みにナイフで該佛像を削つた處これはしたり純金どころか鉛のメッキ物と判明、一同あいた口が塞がらなかつたとか

物騷な御用聞き
隙を窺つて盜む

內郷村大字綴字小島雜貨商店員外畑庄兵衛（二八）假名―は昨十四日午前九時頃平町仲間町野菜行商曾我新太郎方へ御用きゝに行き新太郎が戶外で用便中錢箱から現金五圓七十錢を窃取逃走せんとする處を平署に檢擧

九面隧道改修陳情

本縣及茨城兩縣を境する勿來町九面隧道の竣功により同隧道續きの延長四十米、幅員四米の隧道が最近地崩などが發生交通危險に瀕し尙これが竣功により縣境が判然しないので赤津同町長は昨十四日平土木監督所に改修方を陳情した

誤叱府

小玉川工事場の紛紜が生んだナンセンス―怪事件を耳にした平署渡部司法主任以下七八名が早速身仕度甲斐〲しく永戸村の村道を通行中反對の道からやつて來た土工風の男が突然懷に何か潛ませたので取調べると中から導火線四、五十尺に雷管二十本、ダイナマイト十餘本が飛び出したので刑事連これは大事件とばかり取調べた處營林署が林道開鑿工事で使ひ古した品々と判明一同ナーンダ

◦◦◦◦平町出身兵行賞 平町出身獨立山砲第一聯隊輜重特務兵川上龍三郎、佐藤喜代三郎兩君は滿洲、上海事變の勳功により同聯隊より瑞八五十五圓を下賜された旨今十五日町役場に通知あつた

◦◦◦◦湯本校唱歌會 湯本小學校では來る二十六、七の兩日午前九時より校內唱歌會を催すが種目は齊唱、合唱輪唱、獨唱、唱遊等で番外に職員の凶作遊戲と銘打つた新遊戲の發表あり男子研究部員は吹奏樂の演奏をなすと

平區卽決一束

◦◦◦◦賭博四人男 双葉郡葛尾字小出谷農千葉卓爾（三七）同炭燒松本末藏（三八）津島村大垣大槻末吉方炭燒佐藤友之助（五三）同大字晝曾根字尺石炭燒根本亥之助（四七）の四名は六月二十六日千葉方物置二階で丁半賭博をなし此程平區より各科料十圓

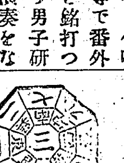
◦◦◦◦圖法螺漁夫 江名町大字中ノ作字川岸三七漁業遠藤勝馬（三二）は去月一日自己所有の機帆善勝丸の船首並に艦緻部に許可番號を表示せず又許可證を携帶せず同町沖合に出漁した廉で。同字入六三漁業吉田貞吉（三八）も同樣所有船長榮丸に番號を表示しなかつたので此程平區より何れも略式で罰金十圓に處された

貸切の御用命は
「尼子タクシー」へ
六四〇番
御願致します
長距離は御相談に應じます

舊十一月十日 日曜 辛酉 友引 收 房宿 新十二月十六日

十六日 日出 六、四三 日沒 四、二九 月出後 〇、二五 月沒前 〇、四九 滿潮 前一、三五 後〇、五五 干潮 前七、二〇 後八、二五

十七日 日出 六、四四 日沒 四、三〇 月出後 一、三一 月沒前 三、〇一 滿潮 前三、一五 後一、四〇 干潮 前八、三〇 後九、一〇



判定盤附 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部 [illegible]

▲一白の人 萬事堅實に企つれば發展す短氣を起せば凶▲二黑の人 輕々しき行動は意外の失敗を招くことあり▲三碧の人 八方に氣を配りて行詰りを生ぜぬ用心肝要▲四綠の人 金錢問題に係り過ちあり他の事は順調なり▲五黃の人 運途塞りて諸事停滯すべし、舊態を守るが吉▲六白の人 氣を採めば採むほど不快の募る日飲食注意▲七赤の人 不安の念に襲はるとも心を變へず時を待て▲八白の人 衰兆甚しく萬事進まぬが安全盜難病厄注意▲九紫の人 不平不滿の念を起さず勉むるが勝健康注意

舊十一月十一日 月曜 壬戌 先負 開 心宿 新十二月十七日

▲一白の人 計畫のそごする日緊張して萬事に當るが吉▲二黑の人 內外共に注意の日口舌爭論は大事と爲らん▲三碧の人 投機的の事業を爲さば大失敗を招くに至る▲四綠の人 相談事には兎角口舌の伴ひ易き日怪我注意▲五黃の人 運氣盛なるが如く見へても禍の授からぬ日▲六白の人 大小に係はらず萬事心を配りて進むべき日▲七赤の人 意外の幸福に訪はるゝ日起業計畫相談皆吉▲八白の人 急功を求むるときは兎角平凡に終らんとす▲九紫の人 榮々と進展を遂ぐべき日起業開店普請等吉